

第82期 中間報告書

平成13年4月1日から
平成13年9月30日まで



科研製薬株式会社

経営理念
3つのよろこび

「患者さんのよろこび」

患者さんと医療関係者の
ニーズに即した、有用な医薬品の
創製・提供に努める。

「企業のよろこび」

医薬品企業としての社会的責任を自覚し、
高い倫理観をもって企業活動を行い、
社会から信頼される企業をめざす。

「社員のよろこび」

社員がその仕事に喜びと誇りをもち、
活力あふれる存在感のある
企業をめざす。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと心よりお喜び申し上げます。
平素は格別のご支援、ご高配を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

さて、第82期上半期（平成13年4月1日から平成13年9月30日まで）の事業概況をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

少子高齢化と医療保険の財政逼迫を背景とした医療諸制度の再構築は、高齢者医療、診療報酬、医療提供体制ならびに薬価制度の抜本改革などの論議が大詰めを迎えております。

このような背景のもと、外資系企業の統合のみならず、国内企業間の再編も進み始め、製薬業界を取り巻く環境は、一段と厳しさを増すものと予想されます。

当社はこのような製薬業界の動向に対応すべく、自社販売品の市場占有率の維持拡大に努力するとともに、新製品の継続的上市ならびに研究開発パイプラインの強化という課題に取り組んでおります。

株主の皆様よりご期待を寄せられております褥瘡・皮膚潰瘍治療剤「フィブラストスプレー」は、本年6月に発売いたしました。

当社は、「患者さんのよるこび」、「企業のよるこび」、「社員のよるこび」の3つのよるこびを経営理念として掲げ、21世紀に独立した存在感のある企業として生き続け、グローバル化を可能とする経営基盤を確立し、株主の皆様のご期待に応えられますよう企業価値をより一層高めることを主眼に、邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも倍旧のご支援とご理解を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

平成13年12月



代表取締役社長 乾 四朗

営業の概況 (平成13年4月1日から平成13年9月30日まで)

医薬品および医療用具

医薬品業界におきましては、医療費抑制策が進展し、外資企業による国内市場での販売攻勢が強まる中で、生き残りをかけた激しい競争が繰りひろげられております。

当社はこのような厳しい環境下、6月に発売した期待の新薬である褥瘡・皮膚潰瘍治療剤「フィラストスプレー」を加えて積極的な営業活動を展開いたしました。

その結果、主力品の関節機能改善剤「アルツ」は前年同期を下回ったものの、減少を最小限に止めることができました。また、慢性動脈閉塞症治療剤「プロサイリン」および鎮痛消炎貼付剤「アドフィールド」は前年同期をわずかに下回りました。

一方、高脂血症治療剤「リバンチル」は重点的な販売活動により、前年同期を上回りに着実に市場に浸透しております。

医療用具の合成吸収性癒着防止材「セプラフィルム」は保険適用範囲が拡大されたことから、需要が増加し、売上は大幅に伸びいたしました。

その結果、当上半期の医薬品および医療用具の売上高は、319億6百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

農工業品その他

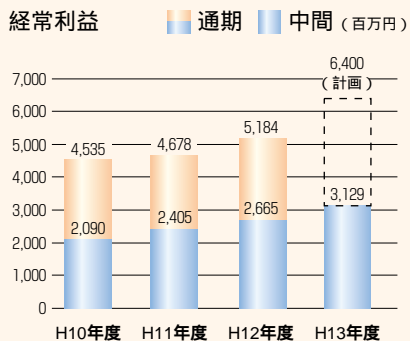
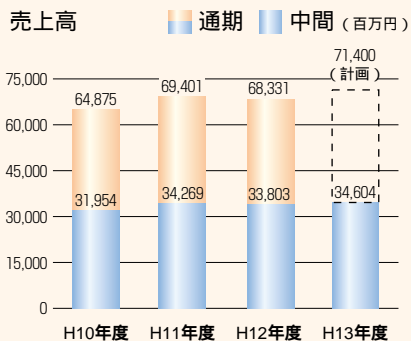
農業薬品につきましては、需要が低迷する状況のもと、ほぼ順調に推移いたしました。飼料添加物は、主として海外市場で他国製品との競合が激化し、価格が軟化した影響から売上は減少いたしました。また、不動産賃貸料はわずかながら減少いたしました。

その結果、当上半期の農工業品その他の売上高は、26億9千8百万円（前年同期比8.2%減）となりました。

以上の結果、当上半期の売上高は、346億4百万円となり、前年同期と比べて8億1百万円（2.4%）増加いたしました。

また、経営の効率化を推進した結果、原価率等の改善により経常利益は31億2千9

営業成績の推移



百万円となり、前年同期と比べて、4億6千4百万円（17.4%）増加いたしました。株価下落による投資有価証券評価損などにより特別損失が膨らんだ結果、中間利益は7億4千3百万円となり、前年同期と比べて7千8百万円（9.5%）減少いたしました。

なお、中間配当金につきましては、1株につき3円75銭とさせていただきます。

研究開発

褥瘡・皮膚潰瘍治療剤「フィラストスプレー」は、本年4月に製造承認を取得いたしました。

現在、製造承認申請中のものとしては、肺炎治療剤「ロシッド注」と胃内視鏡検査補助薬「プロナーゼMS」があります。なお、肺炎治療剤「ロシッド注」は、三菱ウエルファーマ株式会社、導入先のロッタ社（イタリア）とともに審査センターの指摘に対応しております。

申請準備中のものとしては、肺炎治療剤「ロシッド錠」がありますが、注射剤の審査状況を見て対処する方針であります。

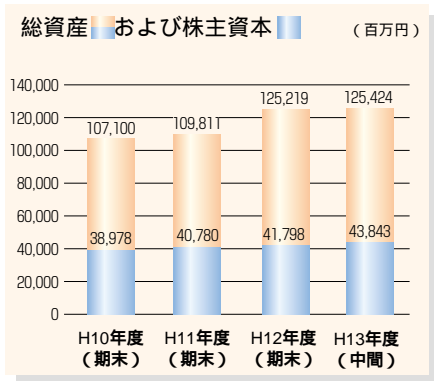
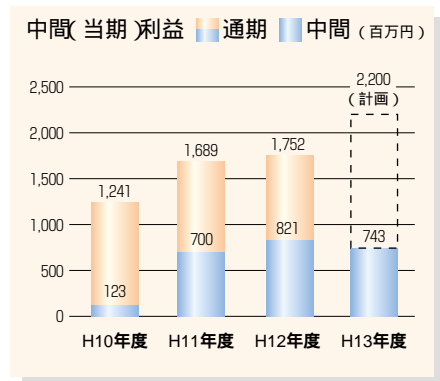
次に第3相試験中のものとしては、視床下部下垂体機能診断薬「KP - 102D」があります。

また、第2相試験中のものとしては、慢性関節リウマチ治療剤「TRK - 530」と骨折治療促進剤「KCB - 1B」、歯周病治療剤「KCB - 1D」があります。

第1相試験中のものとしては、下垂体性低身長症治療剤「KP - 102LN」と慢性関節リウマチ治療剤「KP - 107」ならびに帯状疱疹後神経痛治療剤「KN - 48」があります。

創薬研究の成果として、新たに喘息治療剤の前臨床試験を開始いたしました。

関連会社、株式会社エヌ・ケー・キューレックスが製造承認申請中でありました糖尿病性神経障害治療剤「アルドス」は、審査センターより臨床試験の追加を指示されましたので対応を検討中であります。



トピックス

フィブラストスプレー 6月に新発売



褥瘡・皮膚潰瘍治療剤「フィブラストスプレー」(一般名トラフェルミン)は、本年4月4日に製造承認を取得し、6月1日に新発売いたしました。

再生医療の最先端治療剤として、前評判も高く、売上は順調に推移しております。

本剤は、新生血管を豊富に含む良性肉芽を形成させて、褥瘡、皮膚潰瘍(熱傷潰瘍、下腿潰瘍)の創傷治癒を促進する作用をもち、スプレータイプで使用しやすく、使い方も「1日1回の噴霧」と簡便であります。

フィブラストスプレーは、患者さんの苦痛軽減はもちろんのこと、看護に携わる方々の負担軽減にもつながる製品です。これによりさらなる市場拡大を目指して、病院やその他の医療機関でフィブラストスプレーの認知を高めてまいります。

現在、成分でありますトラフェルミンを研究開発パイプラインの重要な柱と考え、骨折治癒促進剤および歯周病治療剤として臨床試験を実施しておりますが、今後も新たな臨床応用に向けた基礎研究を継続してまいります。

静岡事業所 ISO14001の認証取得

静岡事業所は、工場と総合研究所より構成されておりますが、環境マネジメントの国際標準規格であります「ISO14001」の認証を本年8月28日に取得いたしました。

また、当事業所は、昨年11月に「リサイクル推進功労者表彰」において厚生大臣賞を受賞するなど、産業廃棄物の最終処分量を99%以上の削減、化学物質の大気排出の大幅改善に取り組んでおります。



平成13年度日本農薬学会賞『業績賞(技術)』受賞



本年3月28日、第26回日本農薬学会におきまして、当社は、平成10年に発売いたしました水田用除草剤「ペントキサゾン」に関し、受賞いたしました。

強力かつ選択的な除草活性の有用性および水や土壌への汚染負荷が小さいことによる環境へのやさしさなどが大きく評価されたものであります。

財務諸表

中間貸借対照表

期 別 科 目	前 期	当中間期	期 別 科 目	前 期	当中間期
	平成13年3月31日現在	平成13年9月30日現在		平成13年3月31日現在	平成13年9月30日現在
	百万円	百万円		百万円	百万円
(資産の部)	125,219	125,424	(負債の部)	83,421	81,580
流動資産	71,170	74,992	流動負債	36,102	36,623
現金及び預金	19,382	18,789	支払手形	853	1,030
受取手形	6,585	6,888	買掛金	12,448	13,171
売掛金	30,216	30,740	一年以内償還予定転換社債	6,256	6,256
有価証券	4,186	4,289	短期借入金	6,365	6,365
製品及び商品	5,295	6,022	一年以内返済予定長期借入金	157	457
仕掛品	1,757	1,677	未払金	2,542	3,086
原材料及び貯蔵品	1,356	3,068	未払費用	457	305
前払費用	38	40	未払法人税等	3,323	2,911
繰延税金資産	887	846	未払消費税等	347	208
その他の流動資産	1,464	2,628	預り金	146	145
固定資産	53,682	50,173	賞与引当金	2,080	1,804
有形固定資産	26,724	26,339	返品調整引当金	11	7
建物	20,398	19,994	売上割戻引当金	480	443
構築物	515	501	設備支払手形	383	178
機械装置	1,569	1,488	その他の流動負債	248	251
車両運搬具	26	26	固定負債	47,318	44,957
工具器具備品	782	902	転換社債	28,491	26,340
土地	3,432	3,427	長期借入金	2,977	2,672
無形固定資産	208	189	長期未払金	9,326	9,235
特許	24	22	退職給付引当金	5,757	5,976
ソフトウェア	150	132	役員退職慰労引当金	510	465
その他の無形固定資産	33	33	その他の固定負債	255	267
投資等	26,749	23,644			
投資有価証券	8,021	5,799	(資本の部)	41,798	43,843
子会社株式	174	174	資本金	15,923	17,000
長期貸付金	604	584	法定準備金	16,034	17,148
子会社長期貸付金	8,061	8,372	資本準備金	14,661	15,735
長期差入保証金	2,225	2,210	利益準備金	1,373	1,413
長期前払費用	3,200	2,696	剰余金	9,840	10,153
繰延税金資産	2,204	3,315	任意積立金	4,650	4,628
その他の投資等	2,445	724	固定資産圧縮積立金	250	228
貸倒引当金	187	234	別途積立金	4,400	4,400
繰延資産	366	258	中間(当期)未処分利益	5,189	5,524
社債発行費	182	136	(うち中間(当期)利益)	(1,752)	(743)
試験研究費	183	121	評価差額金		458
合 計	125,219	125,424	合 計	125,219	125,424

中間損益計算書

科 目	期 別	前年中間期	当中間期
		自平成12年4月1日 至平成12年9月30日	自平成13年4月1日 至平成13年9月30日
		百万円	百万円
経常 損益 の部	営業収益	33,803	34,604
	売上高	33,803	34,604
	営業費用	30,689	30,840
	売上原価	17,421	17,460
	返品調整引当金繰入額	1	
	返品調整引当金戻入額		4
	販売費及び一般管理費	13,266	13,383
	営業利益	3,114	3,764
	営業外収益	329	282
	受取利息及び配当金	214	210
その他の営業外収益	115	72	
営業外 損益 の部	営業外費用	778	917
	支払利息	410	416
	その他の営業外費用	367	500
	経常利益	2,665	3,129
特別 損益 の部	特別利益	49	196
	固定資産売却益	45	196
	貸倒引当金戻入益	4	
	特別損失	737	1,457
	固定資産除却損	406	23
	投資有価証券評価損	102	1,428
ゴルフ会員権評価損	228	4	
税引前中間利益	1,976	1,868	
法人税、住民税及び事業税	1,833	1,862	
法人税等調整額	677	736	
中間利益	821	743	
前期繰越利益	3,815	4,781	
中間未処分利益	4,637	5,524	

(中間貸借対照表の注記)

- 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しています。
- 子会社に対する短期金銭債権 1,270百万円
子会社に対する長期金銭債権 9,872百万円
子会社に対する短期金銭債務 168百万円
- 有形固定資産の減価償却累計額 21,391百万円
- 保証債務 2,691百万円
- 担保に供している資産
有形固定資産 13,233百万円
投資有価証券 1,686百万円
- 受取手形割引高 2,195百万円
- 1株当たり中間利益(期中平均株式数による) 7円91銭
- 中間期末日が金融機関の休日による手形の未決済額
受取手形 731百万円
割引手形 735百万円
支払手形 226百万円
設備支払手形 13百万円

(中間損益計算書の注記)

- 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しています。
- 子会社との取引高
売上高 689百万円
仕入高 1,428百万円
営業取引以外の取引高 157百万円

株式の状況 (平成13年9月30日現在)

発行する株式の総数

360,000,000株

発行済株式の総数

94,518,374株

(注) 当上半期中、円建転換社債の転換行使により、発行済株式の総数は2,719,333株増加いたしました。

株主数

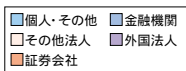
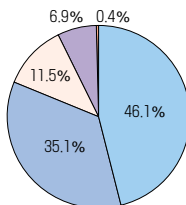
21,632名

転換社債

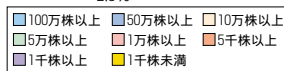
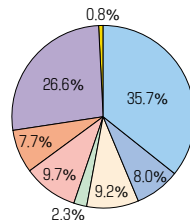
転換社債銘柄	平成14年3月29日満期 第1回無担保転換社債	平成15年3月31日満期 第2回無担保転換社債	2007年9月30日満期 円建転換社債
利率 (%)	2.7	1.0	
発行総額(百万円)	10,000	20,000	10,000
転換累計額(百万円)	3,744		2,151
9月末残高(百万円)	6,256	18,491	7,849
残存率 (%)	62.56	92.45	78.49

(注) 第2回無担保転換社債について、買入消却を累計額1,509百万円行っております。

所有者別分布



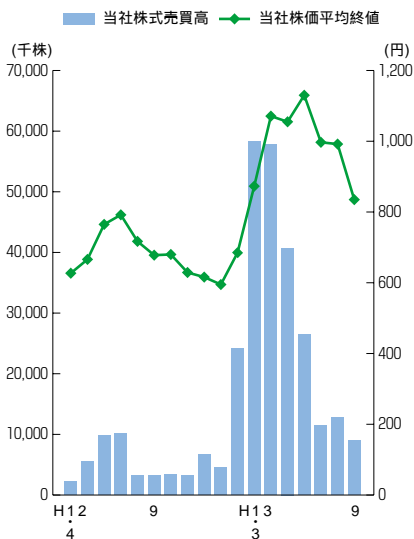
所有株数別分布



大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
指定単受託者中央三井信託銀行株式会社A口	5,000	5.28
東レ株式会社	4,589	4.85
株式会社富士銀行	3,686	3.90
東洋信託銀行株式会社(信託勘定A口)	2,722	2.87
農林中央金庫	2,243	2.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,100	2.22
株式会社あさひ銀行	1,960	2.07
科研製薬従業員持株会	1,728	1.82
日本生命保険相互会社	1,655	1.75
中央三井信託銀行株式会社	1,637	1.73

株価の推移



株主メモ

決 算 期	毎年3月31日
配 当 金 受 領 者	期末配当については3月31日 (中間配当については9月30日) 現在の株主名簿等に記載されている株主または登録質権者
名 義 書 換 代 理 人	〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 証券代行事務センター 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 03(3323)7111(代表)
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本支店・出張所
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞

(お知らせ)

- (1) 平成13年10月1日施行の商法改正により、単位株制度が廃止され、単元株制度が新設されました。また額面株式制度が廃止され無額面株式となりましたが、この改正に伴う株主様のお手続きは、一切不要です。
- (2) 住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。

Kaken Pharmaceutical Co.,Ltd.

インターネットホームページ

<http://www.kaken.co.jp/>